

児童ポルノの主な検挙事例

京都における最近の主な検挙事例

被害児童にわいせつ行為等をした後に、写真撮影して児童ポルノを製造した事件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話の無料ゲームサイトで知り合った京都市伏見区居住の女子児童を自室に誘い込み、携帯電話で裸を撮影した大阪府堺市居住のアルバイトの少年（19歳）を児童ポルノ製造で検挙【平成21年7月】 ・ 福知山市居住の少年が、女子児童に自らの上半身裸の写真を撮らせ、その画像を携帯電話で送信させ、また、別の女子児童の携帯電話に送信したとして、児童ポルノ製造・提供で検挙【平成21年9月】 ・ 京都市内のホテルにて、ゲームサイトで知り合った京都市中京区居住の女子児童の裸を、児童の携帯電話で撮影した東京都の会社員（29歳）を製造で検挙【平成22年2月】 ・ インターネットのチャットで知り合った京都府内の女子児童に現金を渡して性行為をした疑いで逮捕した愛知県の僧侶（39歳）が、数年前にも同じ少女にわいせつ行為をし、その際の様子をデジタルカメラで撮影していたとして児童ポルノ製造で検挙【平成22年9月】
女子児童が、金品欲しさから自分の裸の写真を撮影し、児童ポルノを製造・提供（販売）した事件
女子児童が、自分の裸の画像を撮影して、ネットの掲示板を利用し、京都市山科区居住の男性らに販売して、販売代金を遊びや生活費に使っていた埼玉県上尾市居住の女子児童を児童ポルノ提供（販売）で検挙【平成22年6月】
インターネットオークションを利用し提供（販売）した事件
インターネットオークションを利用し、山形市内居住の男性他3名に、郵送等によって、児童ポルノDVD及びわいせつ図画DVDを販売したとして、北九州居住の無職少年（18歳）を、児童ポルノ提供及びわいせつ図画販売で検挙【平成22年1月】
ファイル共有ソフトを使用し公然陳列した事件
<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイル共有ソフト（シェア）を使用し、インターネット上に児童ポルノを公然陳列していた大阪府高槻市居住の開業医（41歳）を検挙【平成22年3月】 ・ ファイル共有ソフト（シェア）を使用し、インターネット上に公然陳列する目的で児童ポルノを所持していた埼玉市居住の会社員（24歳）を検挙【平成22年5月】

全国における参考事例

実母らが、実娘の裸の画像を「性の商品」として小児性愛者等に販売していたインターネット利用の児童ポルノ製造・提供等事件 【宮城県警・警視庁】

宮城県警等が、平成21年夏から平成22年初旬に掛け捜査した事件
宮城県警に、若い母親からの「携帯サイトで知り合った相手に娘のポルノ写真を送ったが代金が支払われない」等との相談に端を発した事件で、実母らが実娘等の児童ポルノを製造し、小児性愛者等に販売していた事件
小遣い稼ぎ目的で、幼い娘の裸の写真を携帯電話で送信したり、みだらな行為をされると知りながら男に引き合わせたりしたとして十数人が検挙

児童ポルノ愛好家グループによる児童ポルノ製造等事件
【愛知県警・石川県警等】

インターネット掲示板等で結びついた愛好家らが、児童ポルノ画像を頻繁に交換し、また、自ら強制わいせつを行って製造していた事件
全国で十数人を検挙し、被害児童は確認できただけで30数名に上った

インターネット関連会社をめぐる児童ポルノネット販売事件
【平成17年：奈良県警等6府県警】

奈良県警等が、インターネットを通じて販売されていた児童ポルノDVDの被害児童を制服から割り出し、少女らにわいせつ行為をさせ製造等していた大阪府居住の契約社員の男（41歳）ら3人を検挙した事件
少女らは、インターネット等で「モデル募集」等と誘われ、小遣い稼ぎのため出演
この事件の映像は、最近の検挙事件でも証拠品として押収されている